

## ●給水栓用継手(インサート金具付)の使用上の注意事項●

### ■ 給水栓用継手とは

「給水栓用継手<sup>※</sup>」とは、「JIS B 0203管用テーパねじ」に規定される平行めねじを持つ金属インサート継手をいいます。

給水栓用継手の標準締め付けトルク				管用ねじの種類				
サイズ(ねじのサイズ) 標準締め付けトルク	13 Rp1/2	20 Rp3/4	25 Rp1	管用テーパねじ			管用 平行ねじ	給水栓 ねじ
	N・m			テーパ おねじ	テーパ めねじ	平行 めねじ		
	30	40	50	JIS 規格	R	Rc	Rp	G
				旧JIS 規格	PT		PS	PF
								PJ

※給水栓用継手：給水栓用エルボ、給水栓用ソケット、給水栓用チーズ、座付給水栓用継手シリーズ

給水栓用継手および金属おねじ付バルブ用ソケットのねじ部の材質

給水栓用継手(インサート付)：黄銅
金属おねじ付バルブ用ソケット(I型)：黄銅
金属おねじ付バルブ用ソケット(II型)：青銅

※黄銅はステンレスと用いると電蝕し、漏水する可能性がありますので、ご配慮願います。

### ■ 給水栓との接続

給水栓との接続には、シールテープを使用してください。

- ①過度の締め付けをすると、給水栓用継手からの漏水、または給水栓用継手が破損することがありますので、「給水栓用継手の標準締め付けトルク」にて接続してください。
- ②給水栓用ネジ(PJ)とのねじ接続は、遊びが大きく隙間がありますので、シールテープは多めに巻いてねじ込み、漏れがないことを確認してください。  
止水できない場合、締め付けトルクを増しても止水効果は期待できません。再度シールテープを巻き直し、やり直してください。
- ③取付部につばのある給水栓には、ガスケットを使用することができます。  
※「給水栓」とは、「JIS B 2061給水栓」に適用される単水栓、湯水混合水栓、止水栓、ボールタップ、洗浄弁をいいます。  
※「給水栓継手」を確実に固定してねじ接続をしてください。

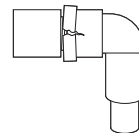
### ■ 給水栓以外との接続

化粧銅管、持出ソケットなどの接続には、シールテープを使用してください。

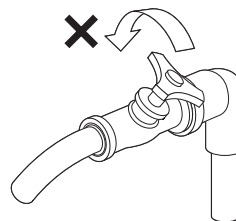
- ①過度の締め付けをすると、給水栓用継手からの漏水、または給水栓用継手が破損することがありますので、「給水栓用継手の標準締め付けトルク」にて接続してください。
- ②給水栓用ネジ(PJ)とのねじ接続は、遊びが大きく隙間がありますので、シールテープは多めに巻いてねじ込み、漏れがないことを確認してください。  
止水できない場合、締め付けトルクを増しても止水効果は期待できません。再度シールテープを巻き直し、やり直してください。
- ③テーパおねじ(R)とのねじ接続は、過度に締め付けると継手の破損に繋がりますので、標準締め付けトルクを超える力は加えないでください。
- ④管用平行おねじ(G)とのねじ接続に使用しないでください。漏水、継手破損の原因となります。

## ■ 接続における注意

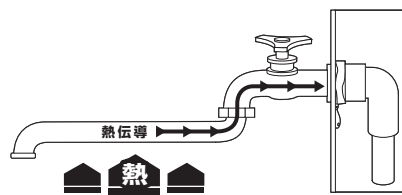
- ① 給水栓継手に給水栓・化粧銅管・ザルボを接続する場合には、過度の締め付け力によって給水栓継手から漏水や給水栓継手が破損することがあるので、「給水栓継手の標準締め付けトルク」にて接続してください。



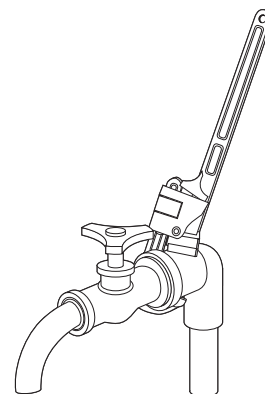
- ① 給水栓の取付位置を調整するためにねじ込みを戻すと、ねじ接続部から漏水することがあります。ねじ込みを戻す位置調整はしないで、やり直してください。



- ① 高温になる厨房等で使用すると、接合された給水栓などから外部熱の影響を受け、樹脂部が軟化し水圧等の応力によって変形(膨張)し、漏水に至る場合がありますので注意してください。

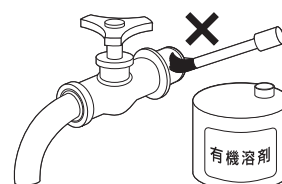


- ① ねじ接続にあたって、給水栓用継手にパイプレンチを掛けると、継手を傷つけたり、過大な力が掛りやすいため破壊・漏水の原因になります。



- ① 有機溶剤を含む液状シーリング剤を使用すると、材料劣化により漏水に至る場合がありますので注意してください。

- ① 使用環境によっては、クレオソート、白蟻駆除剤などの有機溶剤と接触する場合があります。ソルベントクラック等により漏水に至る場合がありますので注意が必要です。



- ① 現場でネジ切り加工を施した銅管を、給水栓継手に直接ねじ接合しないでください。